

大塚ホールディングス株式会社 2013年度 第2四半期 決算

質疑応答要旨

日：2013年11月13日

Q1: サムスカのADPKD追加適応症に関するアップデートは？

A1: 現在、FDAと会議継続中。

Q2: メンテナの売上の状況は？

A2: 上市から9月までの売上はIMSデータで\$21Mil。ただしIMSデータは病院の処方箋が一部カバーされていないので、実績から2~3割足りていない。発売から6月までは計画通り。7~9月は若干遅れているが、10月から販促を強化している。

Q3: ブレクスピプラゾールのP-3試験結果の公表時期は？

A3: 発表は2014年を予定。

Q4: 決算期を変更して1~12月にする理由は？

A4: 約110社の連結の内、8割は海外の事業会社であるため1-12月の方が良いと判断。決算期変更による影響に関してはFACT BOOK等で情報を開示する予定。

Q5: TAS-102の申請状況は？

A5: 2013年度内に当局からのコメントがあると期待。

Q6: Lu AE58054のアルツハイマー型認知症のP-2試験の結果から、長期間における認知機能の改善維持効果が期待できるか？

A6: P-2試験ではLu AE58054の投与期間が短いので判断できない。

Q7: Lu AE58054のP-3試験はメマンチンとの併用も実施するのか？

A7: 現在検討中。

Q8: Astex買収後の会計方針と従業員のリテンションは？

A8: のれんの償却などの影響は2013年度3Q決算発表時での開示を予定。PLは2013年度4Qから連結。リテンションについては人財も含めて資産と考えているので注意深く検討中。現在、Astex社の研究者とゴールを共有しながら進めている。リテンションプランも含めて、今後のプランについては多くの研究者から賛同を得ている。

Q9: 2013年通期見込の営業利益はAstex社も考慮しているか？

A9: 織り込んでいるが、大きな影響はない。

Q10: OBが株を売っているという話がある。個人の株数は変化がないが、個人株主数は増えているためOBが株を売っていると推測できるが、どのように考えているか？

A10: 一般個人株主が増加しているのは事実。株式の売却に関しては個人の都合があるので予測は困難。

Q11: 来期の決算は、日本は4-12月、米国は1-12月で連結するのか

A11: 監査人トーマツと協議し、すべて4-12月の9ヶ月連結の予定。米国を含む海外の1-3月分はBSの剰余金で反映する予定。

Q12: 次期中期計画について、現時点での社長の考え方は？

A12: 次期中期計画は5年間を考えている。事業を多様化し、2020年を見据えた計画になる予定。投資については引き続き連続的な戦略として継続。

Q13: 事業の多様化とは、医療機器、NC事業を含めて想定しているか？

A13: その予定。「生涯健康」を目標に、機会を広げたいと考えている。

Q14: 2013年上期のルンドベックからの一時金等の収入の計上額は？

A14: 2013年上期は約30億円計上。2012年上期は約80億円計上したので、対前年では約50億円程度減少。年間の見通しは160億円程度を予定。

Q15: 通期計画から計算すると、下期は売上18%営業利益36%増を達成しなければならずハードルが高いようだ。10月、11月の状況は？

A15: 10、11月の状況はお話できないが、エビリファイの処方数の拡大および為替の影響で医薬品事業の好調が続くと見込み、通期の計画を上方修正。